

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議 事 録

開催月日	令和 7 年 5 月 1 日 (木) 18 時 30 分～19 時 10 分		
開催場所	JCHO 北海道病院 講堂		
委員長	寺本 信先生	事務局	総合支援センター：兼子
委員出席者 (敬称略)	〔外部委員〕 寺本 信 (札幌市医師会豊平支部 副支部長) 佐藤 恵 (腎臓内科めぐみクリニック 院長) 岡嶋 真紀 (豊平区役所保健センター 札幌市豊平区保健福祉部長) 中川 大輔 (札幌薬剤師会 豊平・清田支部長) 向 俊孝 (札幌市民政委員児童委員協議会 理事) 〔当病院職員〕 古家 乾 (JCHO 北海道病院 病院長) 数井 啓藏 (JCHO 北海道病院 副院長兼総合支援センター長) 長 和俊 (JCHO 北海道病院 副院長兼周産期医療センター長) 長井 桂 (JCHO 北海道病院 副院長兼呼吸器内科診療部長) 山我 健 (JCHO 北海道病院 事務部長) 鈴木 千春 (JCHO 北海道病院 看護部長)		
委員欠席者 (敬称略)	〔外部委員〕 佐々木 泉頭 (弁護士法人 佐々木総合法律事務所)		
要旨	議題 1. 地域医療支援病院実績報告 1) 紹介率・逆紹介率について 2024 年度紹介患者数は 4650 人。紹介率は 66.1%。膠原病内科医師が 1 名増員され紹介数増加に寄与できた。 2024 年度逆紹介患者数は 6974 人。逆紹介率は 99.1%で前年より増加。今後とも逆紹介を進める。地域医療支援病院の要件は満たすことができている。 2) 救急搬送数 2024 年度は 1898 件で地域医療支援病院の要件は満たした。当院目標の 2000 件には届かず。今年度も地域の救急医療に協力できる体制を維持する。 3) 共同利用実績 2024 年度総数は 345 件。MRI 利用は近隣病院から依頼が増加し実績を伸ばした。3 月 27 日～5 月 11 日まで MRI 機器入替工事に伴い受託停止。その間 KKR 札幌医療センター、セントラル CI クリニックに検査の協力をいただいている。テスト稼働を経て 5 月 12 日からは本稼働する。 質問：地域医療支援病院の要件に共同利用の件数は入っていますか？ 回答：設備や機器を地域の医師等が利用できる体制を確保していることが要件。件数の決まりはない。 4) 手術・分娩・内視鏡実績 2024 年度手術室における手術件数は 2438 件。整形外科、泌尿器科の件数が伸		

びた。全身麻酔の手術件数は 200 件ほどの増加を目標としたい。ダヴィンチも順調に稼働。外科で肝・膵の症例を 1 件実施した。

アブレーション件数は増加。分娩件数は少子化の影響もあり減少傾向。

内視鏡件数は前年比で 49 件減少。下部内視鏡検査の減少が影響。

5) 地域の医療従事者に向けた研修実績

2024 年度は地域支援病院としての要件を満たしている。

質問：以前、地域薬局と病院で研修会を行っていた。今後予定があれば参加を呼びかける協力ができるがいかがか？

回答：当院から薬剤師会に連絡させていただく。

議題 2. 患者満足度調査報告

病院と老健でそれぞれ実施。

入院患者では「面会」「食事」の満足度が低く、面会制限の緩和と食事のメニュー改善の取り組みを始めた。

外来患者では「待ち時間」の評価が低い。5 月から自動精算機を導入、採血混雑時の看護師配置を工夫や患者にも衣服を脱ぐなど協力を呼びかけ、待ち時間の改善傾向。会計順番がわかるアプリも運用継続中。

老健も「面会」「食事」の評価が低く病院と同様の取り組みを行っている。

3. その他

◎産後ケア事業について

札幌市の事業要綱に基づき日帰り利用から開始。4 月は数件利用実績。

意見：利用希望の方が多いので今後も取り組みをお願いします。

回答：来年度は宿泊も対応したいと考えている。

◎今後のイベント開催予定

・JCHO 北海道病院健康まつり…8 月後半～9 月に予定・

意見：中の島神社のお祭りが 9/6～7 の予定。

回答：地域の行事と重ならないようにスケジュールを調整します。

・地域講演会…初回は 7 月予定で、その後は 2～3 ヶ月毎の開催を計画。

◎地域医療支援病院運営医委員会および地域協議会開催に関して

今年度の委員会開催スケジュールを対面と書面開催を組み合わせ実施することを提案し合意。

◎電子処方箋について

近隣の薬局の状況はいかがか？

→オンラインのみ運用の薬局はない。紙処方箋とオンライン併用。紙で受け付けた処方箋も取り込み共有できる。以前のようなタイムラグはなくなっている。

次回開催 令和 7 年 8 月（書面開催）